

## 下田市L GWAN系システムリース プロポーザル企画提案 評価基準書

### 1 審査の考え方

提案書の審査にあつては、下田市L GWAN系システムリースプロポーザル実施要項（以下「実施要領」という。）、下田市L GWAN系システムリース仕様書（以下「仕様書」という。）等の関係書類を基に、本案件に対する企画提案等について、書面審査、プレゼンテーション、ヒアリング、合議等において下田市L GWAN系システムリース事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が審査する。

### 2 評価基準

評価については、「表1 評価基準」に定める審査項目により、400点満点で審査する。

表1 評価基準

審査項目	配点
事業者評価・実施体制・プレゼンテーション等に対する評価	100
見積明細書に対する評価	100
機能要件・非機能要件に対する評価	200
合計	400

### 3 書類審査の評価方法

表1における審査項目の考え方は次のとおりとする。

#### (1) 事業者評価・実施体制・プレゼンテーション等に関する評価（小計100点）

選定委員会の委員が表2に基づき採点する。委員全員の採点結果の平均を算出し、評価点とする。算出において端数が生じた場合は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位で評価する。

表2 事業者・実施体制・プレゼンテーション等に対する評価

評価項目	審査基準	配点
提案全体内容	・提案内容の方向性が本市方針に即しているか。	10
事業者の実績	・官公庁等においてシステム導入実績等を有しているか。	20
事業者の認証取得	・業務を遂行するために必要な認証取得等を保有しているか。	必須
実施体制について	・業務を遂行するために十分な人数が配置され、無理のないスケジュールとなっているか ・不測の事態が起きた場合等、問題発生時の適切な体制、スケジュール等が考慮されているか	20

プロジェクトマネージャー等の実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトマネージャー等が本業務に対応できる、十分な経験、資格、実績等を保有するか。</li> <li>プロジェクトマネージャー等は実務年数10年以上、相応の資格を持ち、3件以上の類似実績を持つことが望ましい。</li> </ul>	10
プレゼンテーションについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>適格な文章表現、要点の整理等により分かり易く説得力のある内容になっているか。</li> <li>業務に対する取組意欲、熱意が感じられるか。</li> </ul>	10
追加提案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務で目指すシステム構築・運用・保守において、仕様書に記載した以上の有効的な追加提案があるか。</li> </ul>	30
合計		100

(2) 審査項目2 見積明細書に対する評価 (小計100点)

見積明細書により、「表3 見積明細書に対する評価」に基づき採点を行う。

表3 見積明細書に対する評価

評価項目	審査基準	配点
見積明細書の総額	評価点=配点×(最安見積額) / (提案見積額)	100
合計		100

表中「最安見積額」は、提案事業者から提示された見積明細書の総額のうち、最も安価な金額とする。

表中「提案見積額」は、当該事業者が提示する見積明細書の総額とする。

見積明細書中、リース料が「下田市LGWAN系システムリース プロポーザル実施要項」2(4)に示す予算額を超えている場合は失格とする。

算出において端数が生じた場合は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位で評価する。

(3) 審査項目3 機能要件・非機能要件に対する評価 (小計200点)

「機能要件確認表」及び「非機能要件確認表」により採点を行う。

機能要件は、提出された「機能要件確認表」により採点を行うものとし、本市担当が確認、精査を行う。必要に応じて提案者に対して問合せ等を行い、回答内容を修正する場合がある。

非機能要件は、提出された「非機能要件確認表」を元にプレゼンテーション、質疑等により選定委員会の委員が採点し、委員全員の採点結果の平均を算出し、評価点とする。

機能要件、非機能要件ともに算出において端数が生じた場合は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位で評価する。

表4 機能要件・非機能要件に対する評価

評価項目	審査基準	配点
機能要件	機能要件確認表に基づき採点 評価点＝配点×（得点／満点）	100
非機能要件	非機能要件確認表に基づき採点 評価点＝配点×（得点／満点）	100
合計		200

機能要件において必須項目に対応できない項目がある場合は失格とする。

※なお、機能要件に対する配点は以下の割合とする。

評価項目	割合
AD	15
ファイルサーバ	20
ウイルス対策	5
グループウェア	30
メールサーバ	20
資産管理	5
WSUS	5
合計	100